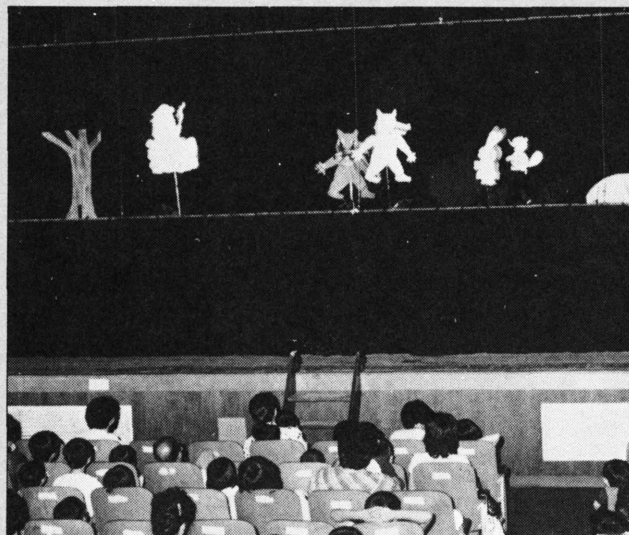


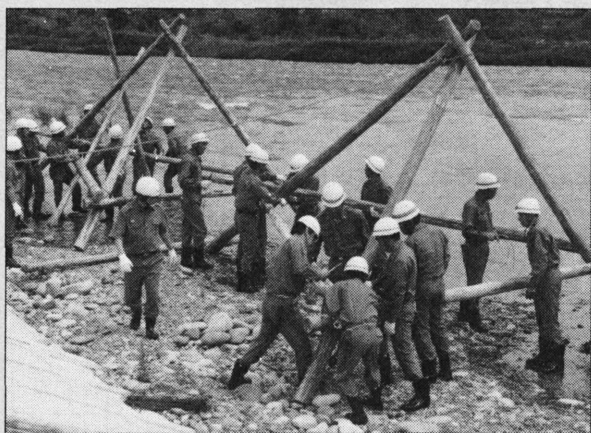


こども劇場に850人

ペープサート劇に人気

第二回こども芸術劇場が六月三十日、市民会館で開かれ、約八百五十人の親子が演劇やゲームを楽しみました。

今回は、地元の保母さんたちで結成している手作りサークル「ゆきんこ」の公演。特に人気を呼んだのはペープサート劇です。紙で作った人形に蛍光塗料を塗って工夫したもので、ウサギやオオカミなどが真つ暗な舞台に浮かび上がり、チビっ子たちは大喜びでした。



真名川で水防訓練

不時の災害に万全の備え

市は六月二十九日、真名川の富田大橋下流で恒例の水防訓練を行いました。訓練には、消防署員・消防団員・日赤奉仕団員など約百三十人が参加しました。

「不時の災害に備えて、万全の準備を」と、川崎市長らがあいさつした後、訓練開始。分団ごとに積土のう工法・蛇かご工法・畳張り工法・三又工法など、本番さながらの水防活動を展開。日赤奉仕団員二十六人も、非常食の炊き出し訓練をしました。

モー君は気分さわやか

奥越高原牧場で「薬浴」

奥越高原牧場でこのほど、放牧牛の「薬浴」を行いました。

牛に付くダニが原因でヒロプラズマという伝染病にかかりやすくなるため、消毒液を入れた浴槽につけて予防するものです。

一カ所に集められた牛は、職員に追いやられて、いやいや頭まで行水。その後は、さっぱりとした様子で体を振るっていました。



厳しい国保の台所

— 財源不足が課題に —

国民健康保険（国保）は、店主や農家のみなさんを対象に、市が運営している医療保険制度です。ふだんからそれぞれの収入に応じてお金を出し合い、病気やけがをしたときの医療費に充てようという相互扶助を目的としています。私たちの健康な暮らしを守る、国保の実情についてご理解ください。

増え続ける医療費

国保の加入者がお医者さんにかかったとき、その費用の負担は3割で済みます。

残りの7割は保険者である市が支払っていますが、この財源は国・県からの支出金と私たちが納める保険税です。

医療費は年間どのくらい使われているか、ご存じですか。

59年度の場合、加入者数は1万5,970人（老人保健2,449人を含む）で、医療費総額は22億7,098万円です。

医療費は年々増え続けています。59年度は、前年と比べて一般分で

7.4%、老人保健分では15.5%もの伸びになっています。急増する主な理由は、人口の高齢化や医学の進歩などによるものと思われます。しかし、このまま医療費が増え続ければ、どうしても国保財政を圧迫することになります。

財源が不足すれば、保険税の引き上げもやむを得ません。伸び続ける医療費を、今後どのように賄っていくかが大きな課題です。

私たちが日ごろから健康づくりに心掛けるとともに、病気の早期発見・治療に努め、少しでも医療費の節約に努めたいものです。

保険税の45%が老人保健へ

国保加入者のうち、老人保健対象者は今年6月1日現在で2,518人（16%）です。ところが、保険税の半分近い45%が、お年寄りの

医療費に使われています。

老人保健の対象者は、病院の窓口で毎月400円だけ支払えば医療が受けられます。

しかし、決してその400円だけで診てもらえるものではありません。みんなが出し合った保険税から、医療費の大部分が支払われていることを忘れないでください。

お年寄りの人口は、今後も増え続けることが予想されます。それに応じて伸び続ける医療費をどのように抑制するか、私たち1人ひとりが真剣に考えなければならない問題です。

保 険 税

算定基準を改正

国保会計を健全に維持・運営するため、保険税の算定基準が次のとおり改正されました。

1世帯当たりの課税最高限度額は35万円で、昨年と同じです。

年度別		59 年	60 年
基準	所得割		
	59年度基準所得	5.6%	6.0%
資産割	60年度固定資産税	48 %	48 %
	均等割		
	国保加入1人につき	10,080円	11,000円
平等割	国保加入1世帯につき	12,000円	12,000円

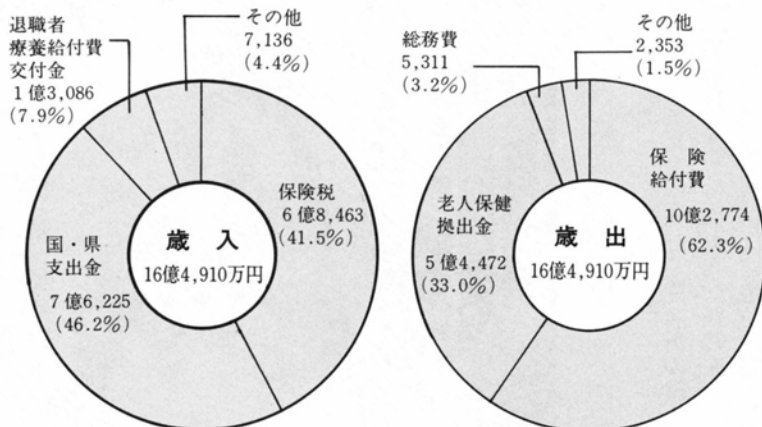
軽減世帯の判定基準も変わる

40%軽減世帯の1人当たり基準額が、これまでの19万円から「19万5,000円」に変わりました。

60年度予算は16億5,000万円

国保会計の60年度当初予算は16億4,910万円で、前年に比べ8.6%の伸びになっています。歳入・歳出の内訳は下表のとおりです。

6月1日現在の国保加入者は、6,129世帯（市全体の57.8%）1万5,736人（同36.7%）です。





「林業友の会」に参加を

「大野市林業友の会」(仮称、7月中に発足予定)では現在、会員を募集しています。

会員の親ばくを図り、林業に関する情報交換や調査研究を行うのが目的です。市内に住む林業従事者、または林業に関心のある人なら、どなたでも参加できます。

詳しいことは市役所農林商工課 林業振興係(66-1111内線322)または市森林組合(65-0005)へ。

農薬の事故に注意

例年、農薬の管理不徹底や使用上の不注意などによって事故が発生しています。

正しい使い方と安全な管理に気をつけてください。

- 使用する前に、容器に表示してある注意書きをよく読んで、正しく守る。
- 散布するときは、必ずゴム手袋や保護マスク・メガネなどを使用する。
- 疲労しているときや体調の悪いときは作業をしない。
- 散布作業は朝夕の涼しい時間を選び、2～3時間で交替する。

市内の交通事故状況

件数内訳		60 年 6 月末	59 年 6 月末	増減
総 件 数		151	138	+ 13
人 身 事 故	件数	80	54	+ 26
	死者	3	3	± 0
	傷者	103	76	+ 27
物損事故		71	84	- 13

- 作業の前日や作業後は、飲酒や夜更かしをしない。
- 作業後は、手足はもちろん全身を石けんでよく洗う。衣服も着替える。
- めまいや頭痛がしたり、気分が悪くなった場合は、すぐに医師に診てもらう。
- 農薬の保管・管理には十分注意し、子供やお年寄りが誤って飲んだり触れたりしないように気をつける。

労働相談は気軽に

県では4月から、次のとおり労働相談室を開設しています。

労使関係をはじめ、賃金・退職金・定年・労働時間などいろいろな労働問題の相談に応じています。ご利用ください。

〈開設日〉毎週月・火・木・金曜日(午前9時～午後4時45分)と水曜日(正午～午後5時)

〈場所〉奥越合同庁舎内(友江、電話65-1280内線613)

〈相談員〉県中小企業労働相談員

越美北線25周年記念

天橋立・城崎の旅へ

国鉄では、越美北線の開業25周年を記念して「天橋立と城崎温泉の旅」を企画しました。どなたでも気軽にご参加ください。

〈期日〉10月13日(日)～14日(月)

1泊2日

〈定員〉300人

〈会費〉越前大野発の場合で1人2万6,000円

お申し込みは越前大野駅(66-3350)へどうぞ。

臨時列車をご利用ください

7月から9月まで、土・日曜日を中心に臨時列車「おくえつ号」が運転されます。

スマイル

「平均寿命世界一」

退屈だナ

— エンマ大王

〈運転日〉

○7月…20・21・22・27・28日

○8月…3・4・11・16・17・18
25日

○9月…1・8・15・16・22・23
29日

〈上り〉

九頭竜湖10.00発→越前大野10.25着

越前大野12.30発→福井13.35着

〈下り〉

福井8.24発→越前大野9.21着9.22

発→勝原9.38発→九頭竜湖9.56着

心の健康相談

大野保健所では「心の健康相談」を受け付けています。

家庭・職場・地域社会などで生じるいろいろな問題をはじめ、痴呆性老人問題などで悩んでおられる人は、お気軽にご相談ください。秘密は厳守します。(無料)

〈日時〉毎月第2・4水曜日の午後1時～3時

〈場所〉保健所相談室

〈担当〉精神科医師・精神衛生相談員・保健婦

詳しいことは保健所(66-2076)へお問い合わせください。

医療事務の講習会

地域職業訓練センターでは、医療事務講習会を開きます。

〈内容〉内科・外科を中心とした医療全般(歯科を除く)

〈期間〉7月29日～8月30日で延べ18回(時間は10.30～15.30)

〈受講料〉1万2,000円

〈定員〉20人

希望者は7月20日(土)までにセンター(65-6840)へどうぞ。

市民カレンダー

7月25日～8月9日

25(木) 土用の丑	心配ごと相談 婦人ガン検診	9.00～12.00 13.00～14.00	市役所 保健センター	7月21日～8月20日 夏の交通安全市民運動 7月21日(日)～8月20日(火) は、夏の交通安全市民運動が展開されます。 この時期は、夏の暑さや疲労・解放感などから事故の多発が懸念されます。市民1人ひとりが交通ルールを守り、事故防止に努めましょう。 運動の重点は①歩行者・自転車利用者、特に子供とお年寄りの事故防止②暴走・飲酒・過労運転の防止③シートベルト・ヘルメットの着用徹底——です。
26(金)	年金相談 胃ガン検診	10.00～15.00 9.00～11.00	福井銀行大野支店 保健センター	
27(土)	市民大学講座	13.30～15.30	図書館	
28(日)	ガソリンスタンド当番 赤尾中野給油所			
29(月)				
30(火)				防ごう非行 助けよう立ち直り 7月は「社会を明るくする運動」月間です。
31(水)				
1(木) 八朔 観光の日	心配ごと相談 婦人悩みごと相談	9.00～12.00 13.00～15.00	市役所 有終会館	
2(金)	献 血	10.00～15.00	市農協	
3(土)	市民大学講座	13.30～15.30	図書館	
4(日)	少年ソフトボール 観光の日	9.00～ ガソリンスタンド当番 大油屋花山給油所	市民グラウンドほか 大油屋花山給油所	市役所テレホンサービス 65局8000番
5(月)	少年ソフトボール 税務相談	9.00～ 10.00～16.00	市民グラウンドほか 商工会議所	
6(火) 広島原爆 記念日	健康診査 婦人ガン検診	9.30～11.00 13.00～14.00	富田公民館 下庄公民館	
7(水) 鼻の日 立秋	結婚相談 胃ガン検診 婦人ガン検診	10.00～15.00 9.00～11.00 13.00～14.00	有終会館 上庄公民館 上庄公民館	
8(木)	心配ごと相談 婦人ガン検診 おのおどり	9.00～12.00 13.00～14.00 19.30～22.00	市役所 保健センター 国鉄駅前広場	
9(金) 長崎原爆 記念日	胃ガン検診 献 血 おのおどり	9.00～11.00 10.00～15.00 19.30～22.00	下庄公民館 福井銀行大野支店 五番通り	

「大野織物業界のあゆみ」を出版

大野織物工業協同組合(稲山喜代二理事長)はこのほど、組合発足35周年を記念して「大野織物業界のあゆみ」を出版しました。

藩政時代の織物の起源から始まり、今日までの160余年の変遷をまとめたものです。森永新

之助さんら5人の編集委員が、資料の収集や執筆にあたりました。

絹からレーヨン、そして合繊へと数々の苦難を克服して織物の一大産地としての基盤を築いてきた過程が詳しく記録されています。業界関係の年表や工業製品出荷額表なども付記されています。



発行 福井県大野市

編集 企画広報課(電話 661111)

印刷 松浦印刷